

今年度、各地域班が「社会奉仕活動」を多彩に

Dブロック4班(豊田、東豊田、東平山、西平山)による一斉清掃が2月20日、JR豊田駅南口周辺で実施されました。4班から計54名が参加しました。これは昨年12月5日のBブロック一斉清掃に次ぐ、今年度2度目のDブロック単位の社会奉仕活動です。

今回の一斉清掃は、1月のDブロック会議で実施を決め各会員に「積極的参加を」とのお知らせを出しました。当日、現地に次々と集まる会員さん一人ひとりに、各班長が声をかけ、にこやかに会話を交わしていました。

午前8時半開始。ブロックリーダーの豊田班 松本班長が挨拶と作業上の注意を

Dブロックが一斉清掃 豊田駅南口周辺で 4班から54名が参加

Dブロック4班(豊田、東豊田、東平山、西平山)による一斉清掃が2月20日、JR豊田駅南口周辺で実施されました。4班から計54名が参加しました。これは昨年12月5日のBブロック一斉清掃に次ぐ、今年度2度目のDブロック単位の社会奉仕活動です。

その後、一同は元気に四方八方へ1時間後に集まったゴミは、不燃ゴミ袋、可燃ゴミ袋でした。

西平山班の山口忠史さんは5



「さあ、始めましょう」 -Dブロックの皆さん

月刊

さわやか

第47号
平成23年3月15日

《発行》
(社)日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421581-8171

会員数

平成23年1月31日

1,777名

男性 1,355名
女性 422名

入会者数
1月 23名
(男17名、女6名)
但し、退会者20名

年生男児のお孫さんと一緒に参加で本人が行きたいと言っている間は連れて来る。お孫さんの参加は2度目。東豊田班の長谷川正弘さんは1月に入会したばかりですが、奥さんも一緒に参加。たばこの吸殻が多いですね」と、マナー面が残念そうでした。

各班長は集まったゴミの整理をしながら、「今回は新入会員や新しい顔ぶれが多くてよかったです」と語り合っていました。

各地域班のボランティア活動(1月末現在)

「社会奉仕活動」、つまり従来のボランティア活動は、BブロックやDブロックのほか、地域班の単位でも独自に、自主的に実施しています。今年度実施した地域班を紹介します(ただし1月末現在)。

活動内容は次のとおり(カッコ内

はの(日数との(参加人数)。総務部会まとめ

- * 新町班(48日、164人) 東光寺小学校学区内パトロール、横断歩道の指導、朝の挨拶運動、新入会員への参加呼びかけ
- * 日野本町班(6日、104人) 日野駅周辺 福祉センター前児童遊園の清掃、同遊園砂場の掘り起こし、フロンコ下の土補充。吸殻・ペットボトルが多い
- * 南平3班(6日、139人) 南平駅前中心に清掃。毎回不燃・可燃ゴミ合わせて6、7袋。

安藤副会長が逝去

安藤義男副会長が2月20日、逝去されました。西平山班。享年75歳。理事7年、安全管理委員長、事業部会長等を歴任。平成9年8月5日入会。

第61回定期総会

日時 平成23年3月25日
(金)午後1時半

場所 七生公会堂

東日本 未曾有の大震災!

被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

就業期限確認書交付式 公共施設53名に

4部門に分かれ統括リーダーが研修会

生活・保健センターで3月2日、公共施設32カ所から就業する会員53名に対し、就業期限確認書交付式が行われました。

初めに北村会長が挨拶し、「確認書は発注者と契約した業務を皆様に委任するもので、協働共助の精神で安全に留意して従事してほしいとのべました。一同を代表して赤平昭子さん(新町班)が確認書を受け取りました。

この後、一同は4グループに分かれ、各統括リーダーから業務について研修を受けました。公共施設関係30名、自転車関係11名、学校関係10名、公園・スポーツ施設関係2名でした。

待遇と安全を大切に

公共施設関係では、高木統括リーダーがとくに、まず仕様書をよく読む、職場の研修途中でも無理と思ったら早く決断してほしい、社会奉仕活動、地域班会議等にも参加を と強調。最後に職場のトラブル事例として言葉がきつい感じが悪い・親切で



公共施設関係の研修。右端は高木リーダー

ない等の苦情を紹介、受講者に「良い待遇を」と訴えました。

自転車関係の横関リーダーは「待遇に注意し利用者とのトラブルを避ける、自転車等の取扱いに注意し、腰を痛めないような仕方で作業する、などをわかりやすく説明。学校関係では、片山リーダーが2度目の当番。事業部会の田村理事も参加しました。

公園・スポーツ施設関係の橋本リーダーは、会員の安全就業基準と就業規約を説明しました。

各地域班のボランティア活動(1面のつづき)

*程久保班(2日、30人)≡多摩動物公園通りの清掃。除草では23袋回収。

*新井・高幡班(1日、13人)≡高幡不動駅南口周辺の清掃。緑地帯のカンのポイ捨ては本当に困る。

職場リーダーは安全対策推進員を兼務します

年度末は職場リーダーの交代時期です。新任の職場リーダーには、当センター会長による委嘱状が交付されます(左記参照)が、そこには「職場リーダーおよび安全対策推進員に委嘱」と明記されています。つまり、同時に安全対策推進員を兼務しますので、この機会に改めて想起しましょう。

委嘱状

〇〇〇様

日野市シルバー人材センターの職場リーダーおよび安全対策推進委員に委嘱します。

平成 年 月 日

社団法人日野市シルバー人材センター
会長 北村 謙司

理事会ニュース

第11回理事会 2月28日

審議事項 ≡ 正会員の入会、平成23年度事業計画(案)、平成23年度一般会計予算(案)、平成22年度一般会計補正予算第2号(案)

報告事項 ≡ 適正な請負契約の推進方針(案)、1月事業実績、各専門部会・安全管理委員会の活動報告

「センター行事日程」

3月15日(火) 地域班長会議
≡ 生活・保健センター
3月25日(金) 第61回定期総会 ≡ 七生公会堂

絵画教室初心者クラス 4月開講のご案内

*科目 ≡ 水彩・油彩・デッサン
*開講日 ≡ 月2回木曜午後1時
*申込み ≡ 581 8171

配分金の支払日

- 3月18日(金)
- 4月20日(水)
- 5月20日(金)
- 6月20日(月)
- 7月20日(水)
- 8月19日(金)
- 9月20日(火)

自転車等放置防止 指導誘導者の研修会 ～当センター会議室で～ 「基本は市民接遇」 市道路課職員を講師に

市内主要駅前等で自転車等放置防止に従事する指導・誘導者のための研修会が2月23日と24日、当センター会議室で開催されました。これには両日で指導・誘導者の会員39名全員が参加しました。昨年10月に就業者の半数以上が交代したため、今回の研修会実施となりました。

主管課の日野市まちづくり部道路課から、4名の職員が説明に来られました。井上課長補佐、黒川主任、佐藤主査、自転車担当の長谷部さんです。

初めに、井上課長補佐および安藤事務局長が挨拶。参加者の手元には10ページほどの資料が配

られ、市職員による自転車等の駐輪状況、それに対する指導・誘導業務についての説明が行われました。この中でとくに、指導・誘導の基本はお客様(市民)への接遇であることが強調されました。

後半は質疑応答。たとえば、消火栓(市管理外)の前の駐輪にはどう対応すればよいか、商店街では店と客の両方に気を使う、道路は歩行者のためなのに、なぜ駐輪が放置がいけないか分かっていない人が多い、等々の意見や感想、質問が出されました。



自転車指導・誘導者研修会(H23.2.23)

新年度目前 問われる適正就業 警備業法の観点から

既報のように、当センターは昨年11月22日に新公益法人の認定答申を受け、今年4月1日から公益社団法人として発足する運びです。その際、今まで以上に厳しく問われるのが、就業の形態と内容が各種の関連法に適正であるかどうかです。これを「コンプライアンス(法令遵守)」と言います(それってなに?参照)。

実際に抵触する恐れがあるとされる法律は、労働者派遣事業法、職業安定法、労働基準法です。具体的には、すでに本紙でしばしば言及した「偽装請負(雇用まがい)」や「混在就業」、あるいは「違法派遣」が問われるようになります。派遣事業はシルバーも可能になりましたが、当センターは許可を受けていません。

このほか個別法として、とくに警備業法が問題。たとえば学校の校舎管理補助はよく「警備」と言われることがあります。実は警備ではありません。シルバーは警備業の認可を得ていません。

PR用写真パネル 新規作製へ

当センターがこれまで活用してきたPR用の写真パネル(平成18年作製)は、対象の職場がなくなるなど内容が古くなったため、新規作製することになりました。新たに対象を公共施設、作業場、職場、生き生きカルチャー教室等、計18カ所を選定し、このほど写真撮影を行いました。3月末に完成する運びです。

それってなに? コンプライアンス

英語で、原義は「従うこと」。経済・法律用語としては「法令に従うこと」。「法令遵守」の意味で使われます。一般には、企業の活動が法令や社会的規範に適合しているかどうかを問う場合に使われ、過去にたとえば禁輸規制違反とか、商法違反(利益供与)等が問題となりました。

今回、新公益法人への移行に伴い、シルバー人材センターにおいても、就業が職業安定法や労働基準法など関連法に違反していないかどうか問われてきます。

山梨県SC連合会へ出張講演

安全就業で 当センター安全管理委員会

当センター安全管理委員会の橋本委員長および飯森副委員長は、2月18日甲府市で行われた山梨県SCシルバ人材センター連合会主催の「安全適正就業推進員安全委員研修会」に講師として招かれ、安全就業について出張講演しました。これには、県下9SCおよび連合会から計61名が参加しました。

当センターはさる平成20年10月、東京都SC連合会「実践フォー



山梨県SCの方々に講演する橋本氏

ラム」で安全就業優良SCとして表彰されました。事故件数を18年度10件から19年度5件に半減させた取り組みが評価されたのです。それ以来、当センターは他SCの訪問を受けたり、出向いて講演する機会が増えました。他県のSC連合会に招かれるのは、21年7月の群馬県に次いで2度目。橋本委員長はまず「安全就業について」と題し40分講演。飯森氏がプロシミュレーターを操作しました。次いで当センター作製のビデオを上映。この後、参加者からの質問に答えました。

橋本氏は、講演や質疑応答を通して、17年度から事故ゼロへのチャレンジを開始、約百名の職場リーダーが安全対策推進員を兼務(2面参照)、安全ネットティング、作業現場での声掛けを重視する等々の取り組みを具体的に紹介しました。

市実施の特定健診、生き生き健診は必ず受けましょう

問合せ先：市健康課、保険年金課

AED講習会に会員43名参加 企業公社主催



AED講習会(H23.2.21)

公共施設の受付業務従事者を対象に、4名の消防署員の指導のもと、日野市企業公社主催のAED講習会が2月21日勤労青年会館で、28日七生公会堂で実施され、両日で54名が参加しました。うち当センター会員の参加者43名でした。初めて体験した市役所業務の女性会員は「実際にやってみると難しいと話していました。」

事故報告は直ちに事務局へ!

(安全管理委員会)

散歩みちは夫婦みち

小倉 克美

少し肌寒いけれどよく晴れたある朝散歩に行こうと夫が私を誘った。

多摩動物公園は人でいっぱい待って!と声を上げそうになった。坂道で突然私はひとり先をいく夫の背中を見失いそのとき目の前の老夫婦の様子に釘付けになった。「よいしょ、よいしょ、枯れ枝のよくなおいちやんが声を掛け引張っている少し小太りのおばあちゃん」「ようこそ!と応えている。」

三歩進んで一歩下がるといつ歌を思い出す遅い歩みだ。「あー!ふたりの手はタオルの端と端でしっかりと結ばれている」その脇を子供たちが歓声を上げながら走り抜ける。肩車をした男性が、ベーターを押した若いママたちが微笑しながら声を掛けていく。

この山を歩くにはふたりはもう年をとりすぎちゃってしまっているのに。それでもいたわり合い励まし合いながら歩いている。一歩また一歩とこつとして生きてきたのだろう。「がんばれー先輩!私は一人を繋ぐタオルに夫婦の絆をみる思いがして、老夫婦に夫と私を重ねていた。」